

1. 「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」について

(1) 受講生によるアンケート評価

受講者人数: 計28名(アンケート回答者計27名)

I 本取組に関する共通の質問

I-1 【属性について】

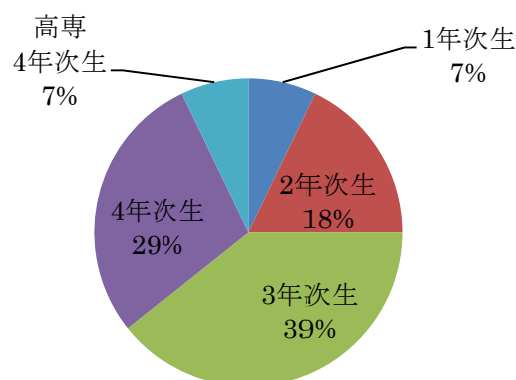
- ・ 本年は8大学・高等専門学校10学科から28名の受講があった。その内の9名は関東圏の2大学からの参加者であったことから、中四国だけでなく全国の学生に本演習が求められていることが示唆された。半数の受講生の専攻は栄養や健康、生命工学、アニマルサイエンス、保育等の食や農(動物)と間接的に関連していたが、残り受講生は食や農とは直接関連のない経済、工学系からの参加者で、教養として食農フィールド体験を希望していた。
- ・ 受講生の約7割が、食農に関わらず一般的なフィールド教育の受講経験がなかった。特に食農に関連したフィールド教育についてはごくわずかの者しか受講経験がなかったことから、本演習のような食と農を主体としたフィールド教育の機会を提供することは非常に意義があると考えられた。

I-1-1) 所属大学・学部(コース等)

- ・ 県立広島大学 人間文化学部健康科学科…4名
- ・ 比治山大学 現代文化学部マスコミュニケーション学科…3名
- ・ 広島経済大学 経済学部経済学科…1名
- ・ 呉工業高等専門学校 環境都市工学科…2名
- ・ 福山大学…7名
 - 生命工学部生物工学科…2名
 - 生命工学部生命栄養科学科…2名
 - 生命工学部海洋生物科学科…3名
- ・ 帝京科学大学 生命環境学部アニマルサイエンス学科…2名
- ・ 東洋英和女学院大学 人間科学部保育子ども学科…8名
- ・ 広島大学 医学部保健学科…1名

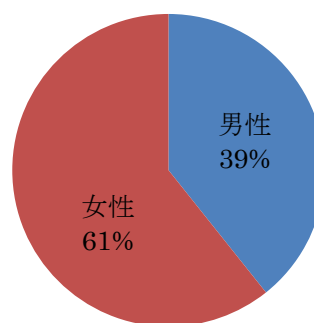
I-1-2) 学年

- ・ 1年次生: 2名
- ・ 2年次生: 5名
- ・ 3年次生: 11名
- ・ 4年次生: 8名
- ・ 高専4年次生: 2名



I-1-3) 性別

- ・男性：11名
- ・女性：17名



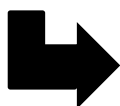
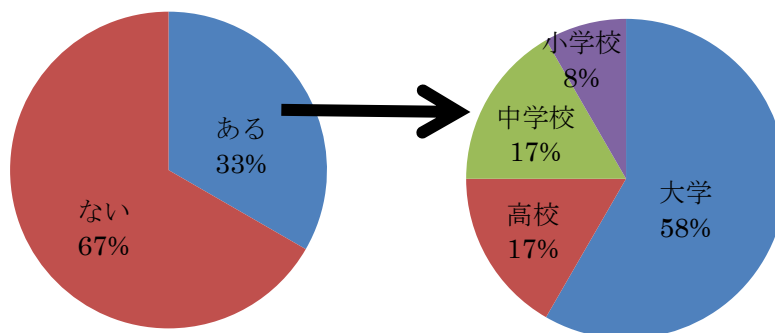
I-1-4) この演習以外にこれまでにフィールドを利用した授業を受けた経験があるか

- ・ある：9名
- ・ない：18名



I-1-5) それほどの時期か (複数回答可)

- ・大学：7名
- ・高校：2名
- ・中学：2名
- ・小学校：1名



I-1-6) どのような内容の授業だったか

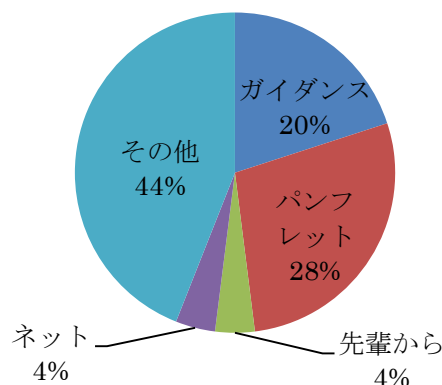
- ・広島大学の「海洋フィールド演習」
- ・アイスクリーム作製 (2名)
- ・カッテージチーズ作製の見学
- ・牧場見学 (2名)
- ・職場体験で牧場の牛舎掃除・餌やり
- ・野菜や米の栽培
- ・川に生息する生物調査
- ・磯に生息する生物の統計
- ・バランスの良い食事とは?
- ・カナダの幼稚園にて「子育て支援」の学習
- ・海外研修でドイツ、ルーマニアに行き、様々な幼稚園視察をしたり、フリードリヒ・フレーベルについて学ぶことができました。
- ・子どもと雪遊びを楽しめるように「スキーやかまくらづくり」の体験

I-2 【授業に参加するにあたっての情報入手について】

・昨年と同様に「ガイダンス」と「パンフレット」を情報源にあげた受講生が半数を占めていた。また、ごく少数ではあるが、過去二年間のアンケートでは情報源として挙げられていなかった「先輩から」や「ネット」と答えた回答者が見られたことから、本演習が他大学の学生に浸透・認知されつつあることが伺えた。

授業のことを、何を通して知ったか（複数回答可）

- ・ガイダンスで：5名
- ・パンフレットで：7名
- ・先輩から：1名
- ・ネットで：1名
- ・その他：11名

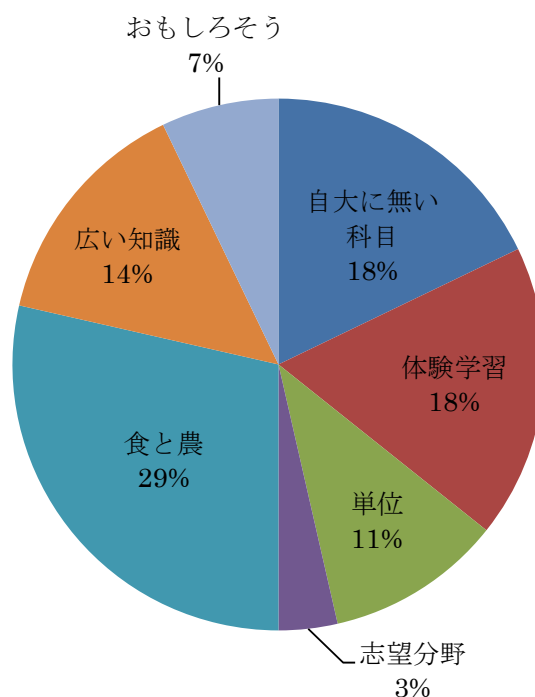


I-3 【授業に参加した理由について】

・昨年は「単位取得」を動機に挙げる受講生が最も多かったが、本年は「食と農について学べるから」が最も多く、続いて「自分の大学にはない授業科目だから」、「体験学習だから」、「広い知識を得たいから」などが多く挙げられていた。本演習は毎年受講希望者が定員を超えるので受講生の選抜を行っている。本年度は選抜方法を大幅に改善し、事前に志望動機を記述させるようにしたことから、演習の趣旨を理解して積極的に学びたいと考えている学生を正確に選抜できたと考えられる。今後も効果的な演習の実施に向け、積極的に学びたいと考えている学生が受講できるように選抜方法を検討していきたい。

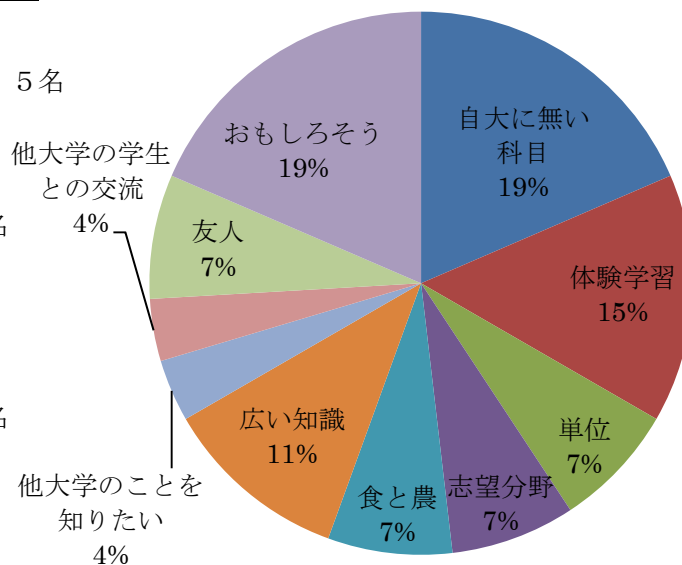
I-3-1) 最も強い動機はどれだったか

- ・自分の大学には無い授業科目だから：5名
- ・体験学習だから：5名
- ・単位が取得できるから：3名
- ・現在の志望分野に関係するから：1名
- ・食と農について学べるから：8名
- ・広い知識を得たいから：4名
- ・他大学のことを知りたいから：該当者なし
- ・他大学の学生と交流できるから：該当者なし
- ・友人が参加するから：該当者なし
- ・おもしろいから：2名
- ・その他（記述）：該当者なし



I-3-2) 二番目に強い動機はどれだったか

- ・自分の大学には無い授業科目だから：5名
- ・体験学習だから：4名
- ・単位が取得できるから：2名
- ・現在の志望分野に関係するから：2名
- ・食と農について学べるから：2名
- ・広い知識を得たいから：3名
- ・他大学のことを知りたいから：1名
- ・他大学の学生と交流できるから：1名
- ・友人が参加するから：2名
- ・おもしろいから：5名
- ・その他（記述）：該当者なし

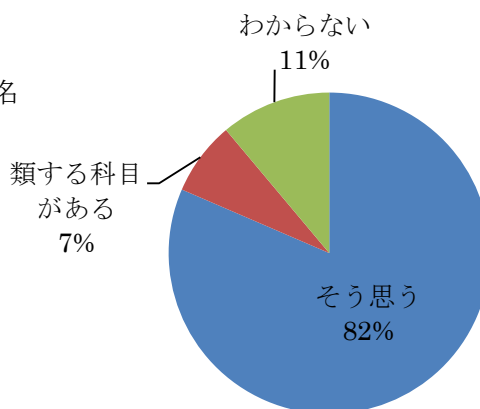


I-4 【広島大学で授業を受けた感想】

・ほとんどの受講生が本フィールド演習を自分の大学にはない独自性のある授業であると評価していた。また、すべての学生が今回の受講を「良い経験」として捉えており、本演習が他大学のフィールド教育に補完・貢献していることが認められた。

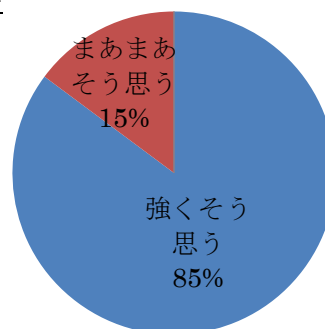
I-4-1) 今回受講したフィールド教育に類する授業は、自大学にはない科目・内容だったか

- ・そう思う：22名
- ・自分の大学にも類する科目がある：2名
- ・わからない：3名



I-4-2) 他大学の先生の授業を受講できてよかったか

- ・強くそう思う：23名
- ・まあまあそう思う：4名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全くそう思わない：該当者なし

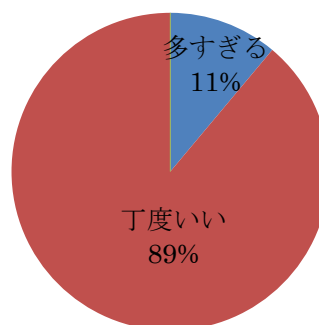


I-5 【他大学の学生との交流等について】

- ・ 他大学の学生と本授業を受けることができたことに対して、昨年度は「大変良かった」と答えた受講生は4割程度であったが、本年度は8割以上と大幅な増加が認められた。同様に他大学生との交流の機会が増えることに対しても非常に肯定的に捉えている受講生が増えていた（58%→93%）。ただし、他大生との交流の程度に関しては「あまりできなかった」という受講生もいたことから、受講生が自主的かつ積極的に交流を促進できる環境をさらに整備したい。

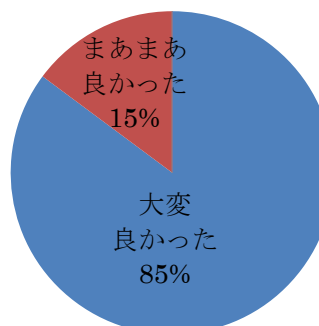
I-5-1) この授業は定員30名に制限しているが（今回は28名）、この定員数について

- ・ 多すぎる：3名
- ・ 丁度良い：24名
- ・ 少なすぎる：該当者なし



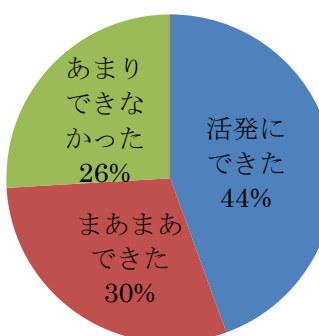
I-5-2) 他大学の学生と同じ授業を受けたことについて

- ・ 大変良かった：23名
- ・ まあまあ良かった：4名
- ・ あまり良くなかった：該当者なし
- ・ 悪かった：該当者なし



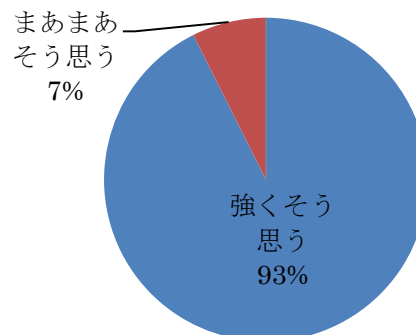
I-5-3) 他大学の学生と交流がどの程度できたか

- ・ 活発にできた：12名
- ・ まあまあできた：8名
- ・ あまりできなかった：7名
- ・ 全くできなかった：該当者なし



I-5-4) 今後も他大学の学生との交流機会を増やすのは良いことだ

- ・強くそう思う：25名
- ・まあまあそう思う：2名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

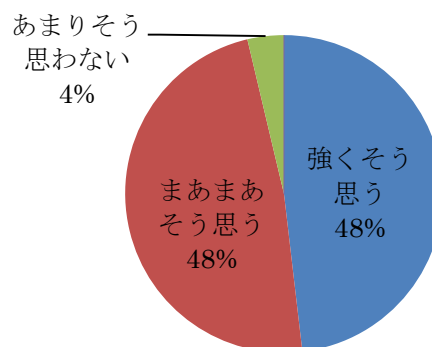


I-6 【この授業は3泊4日の集中形式で、講義・実習・発表の3部から構成されている】

- ・ほとんどの受講生は授業の理解に3部構成の授業形式（講義＋実習＋発表）が有効であると考えていた。また、3つのうち最も面白かった内容については、「発表」という意見もあった。
- ・日数は概ね現在の4日間で妥当であるとの回答が得られた。昨年度との違いとして、「長過ぎる」という回答が減少し（15%→0%）、「短すぎる」という回答に増加が認められた（3%→26%）ことから、本年度は積極的に学びたいと考えている受講生の増加や、3年目を迎えた本演習の内容の充実を反映していると考えられる。

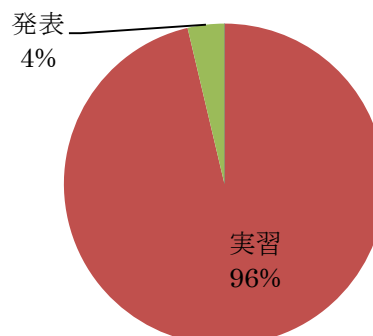
I-6-1) こうした組み合わせは、授業を理解するうえで有効である

- ・強くそう思う：13名
- ・まあまあそう思う：13名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



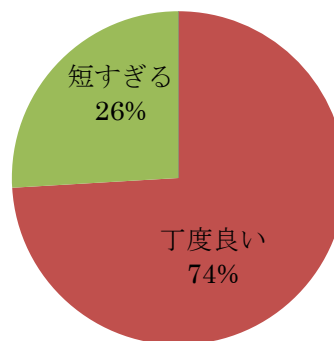
I-6-2) 3つの部分のうち、最も面白かったもの

- ・講義：該当者なし
- ・実習：26名
- ・発表：1名



I-6-3) 4日間の日数について

- ・長すぎる：該当者なし
- ・丁度良い：20名
- ・短すぎる：7名

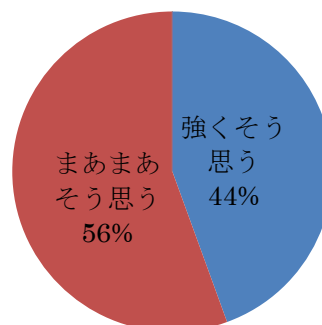


I-7【参加費に関して】

- ・すべての学生が授業内容から判断して参加費は妥当であると見なしていた。
- ・昨年の演習後に課題として挙げられていた食事の内容については、8割以上の受講生が「満足できた」と回答していた。本年度は食事内容や提供方法を見直したことや、食と命の関わりについての講義を増やしたことから(業者の再検討や受講生自身が作ったレトルトカレーの試食など)、受講生の食事に対する意識の大幅な改善につながったものと考えられる。

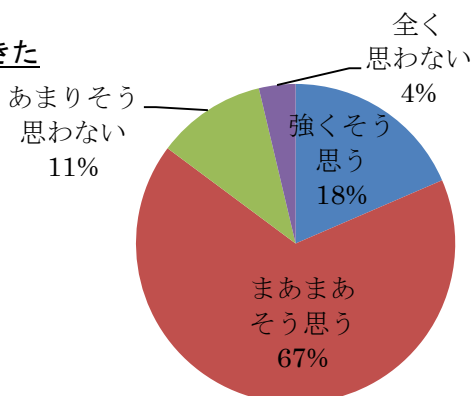
I-7-1) 自分の得たものを考えると参加費は妥当

- ・強くそう思う：12名
- ・まあまあそう思う：15名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全くそう思わない：該当者なし



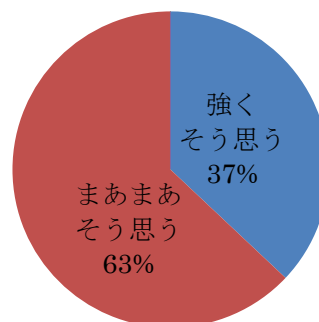
I-7-2) 参加費から考えて、食事に満足できた

- ・強くそう思う：5名
- ・まあまあそう思う：18名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：1名



I-7-3) 参加費から考えて、宿泊施設に満足できた

- ・強くそう思う：10名
- ・まあまあそう思う：17名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

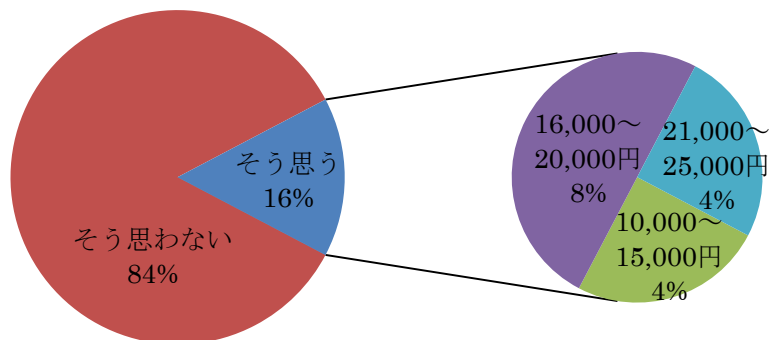


I-7-4) 参加費をもっと高くしても食事と宿泊施設をよくしてほしい

- ・ 思う： 4名

I-7-5) 参加費がどの程度までなら参加するか

- ・ 10,000～15,000 円： 1名
- ・ 16,000～20,000 円： 2名
- ・ 21,000～25,000 円： 1名
- ・ 26,000～30,000 円： 該当者なし
- ・ そう思わない： 22名

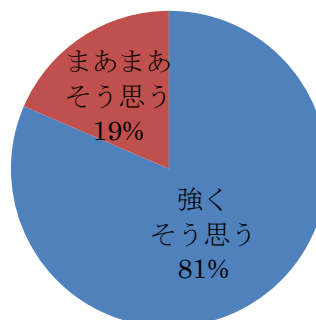


I-8 【食農フィールド科学演習全体についての感想】

- ・ 本演習を通して、全受講生が「食」や「農」に関連した分野への興味の高まりや理解の深まりを実感しており、「食べ物と命との関連性」や「食料生産の重要性」についても意識するようになっていたことから本演習の主要な目的は十分に達成されているものと考えられた。
- ・ しかし、「コミュニケーションスキル」や「チームワーク」、「リーダーシップ」の育成については、班ごとにチームリーダーを決めるなど改善策を工夫したが、昨年度と比較して大きな改善が認められなかった。そもそも本演習は、食と農の教育を主目的としているので、「コミュニケーションスキル」「チームワーク」、「リーダーシップ」については、各大学独自の教育で学生の能力の向上を図ることが必須であると考えられた。

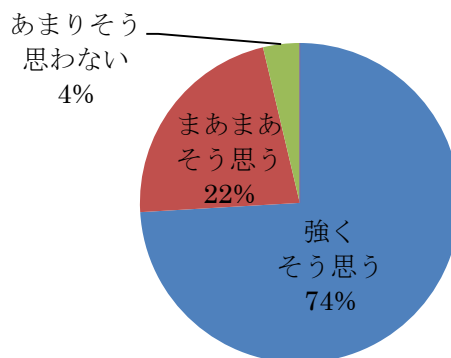
I-8-1) このフィールド科学演習の形式は通常の講義だけの授業よりも、物事を考える上で有意義である

- ・ 強く思う： 22名
- ・ まあまあ思う： 5名
- ・ あまりそう思わない： 該当者なし
- ・ 全く思わない： 該当者なし



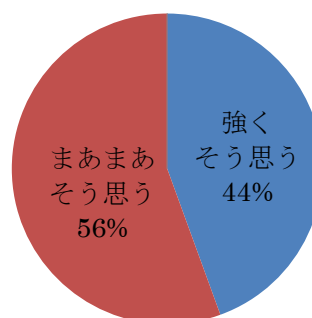
I-8-2) この演習によって、フィールド科学の幅広さや面白さを知った

- ・強くそう思う：20名
- ・まあまあそう思う：6名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



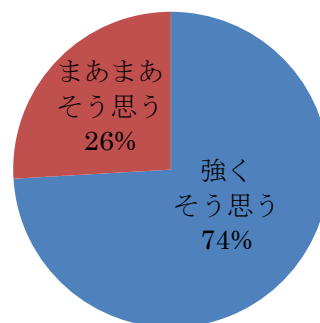
I-8-3) この演習を受講してこの分野についてもっと知りたくなった

- ・強くそう思う：12名
- ・まあまあそう思う：15名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



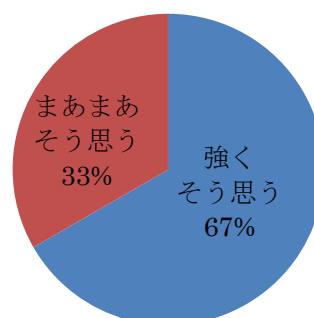
I-8-4) この演習によって、農学系学問分野（食と農の関わりを含む）への理解が深まり、視野を広く持てるようになった

- ・強くそう思う：20名
- ・まあまあそう思う：7名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



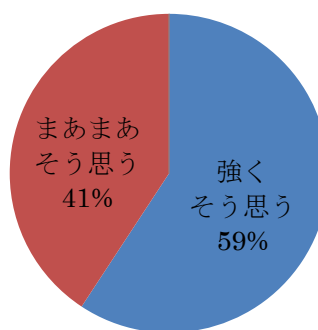
I-8-5) この演習によって、食べ物と命の関連性について考えるようになった

- ・強くそう思う：18名
- ・まあまあそう思う：9名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



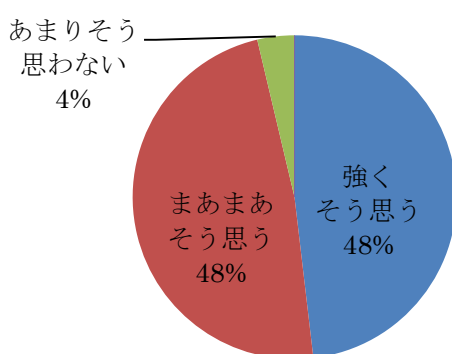
I-8-6) この演習によって、食料生産の重要性について考えるようになった

- ・強くそう思う：16名
- ・まあまあそう思う：11名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



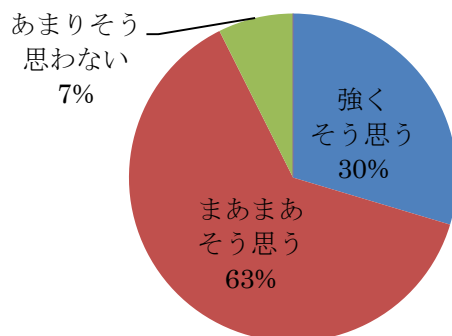
I-8-7) この演習によって、今後も食と農に対して関心を持ち続けたいと思うようになった

- ・強くそう思う：13名
- ・まあまあそう思う：13名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



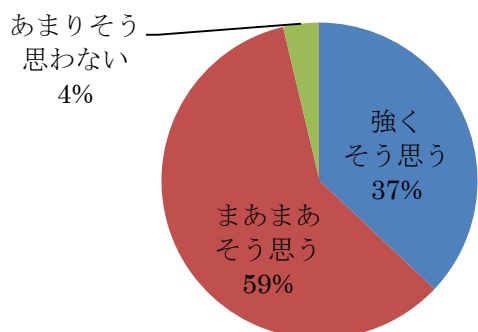
I-8-8) この演習によって、自分なりに行動力や積極性を高めることができた

- ・強くそう思う：8名
- ・まあまあそう思う：17名
- ・あまりそう思わない：2名
- ・全く思わない：該当者なし



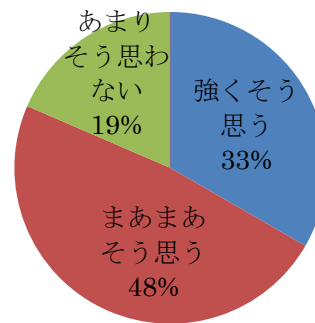
I-8-9) この演習によって、これからの学習意欲が高まった

- ・強くそう思う：10名
- ・まあまあそう思う：16名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



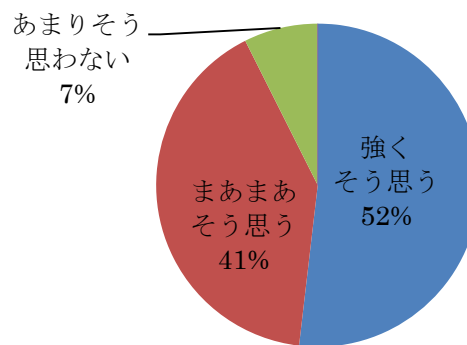
I-8-10) 他大学の学生と交流することによって、コミュニケーションスキルが高まった

- ・強くそう思う：9名
- ・まあまあそう思う：13名
- ・あまりそう思わない：5名
- ・全く思わない：該当者なし



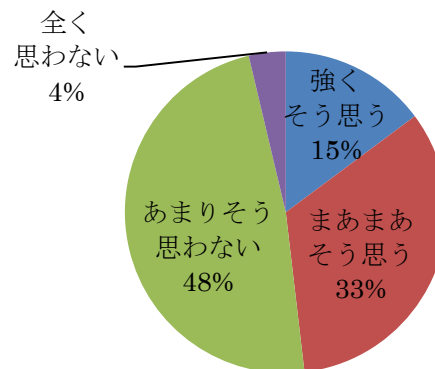
I-8-11) グループ単位の実習によって、チームワークに対する意識が高まった

- ・強くそう思う：14名
- ・まあまあそう思う：11名
- ・あまりそう思わない：2名
- ・全く思わない：該当者なし



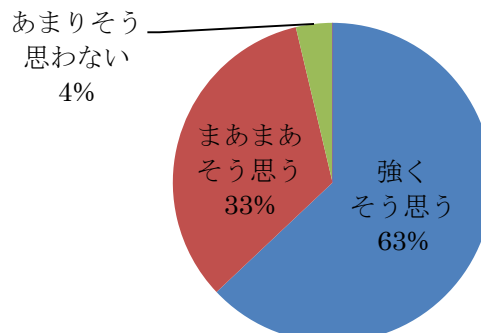
I-8-12) グループ単位の実習によって、リーダーシップをとる力が高まった

- ・強くそう思う：4名
- ・まあまあそう思う：9名
- ・あまりそう思わない：13名
- ・全く思わない：1名



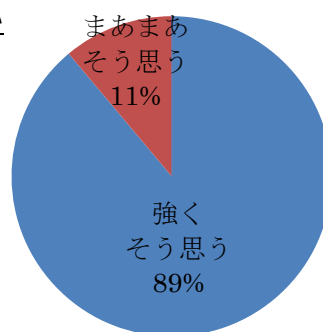
I-8-13) 参加する前の期待度に対して満足度はどうか

- ・非常に満足した：17名
- ・まあまあ満足した：9名
- ・あまり満足できない：1名
- ・全く満足できない：該当者なし



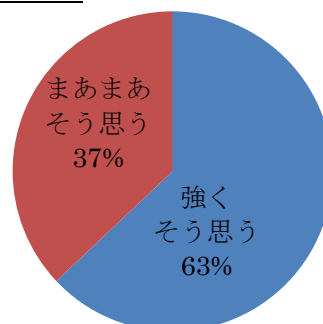
I-8-14) この演習を来年度以降も開講するのが良い

- ・強くそう思う：24名
- ・まあまあそう思う：3名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



I-8-15) 今回の演習を受講して後輩にも勧めたいと思った

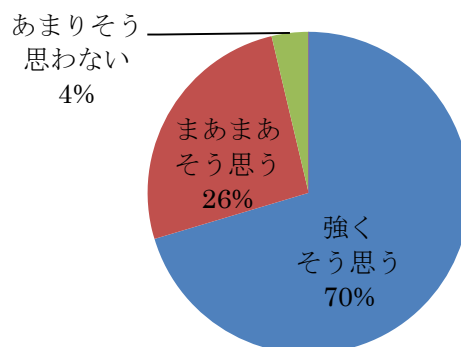
- ・強くそう思う：17名
- ・まあまあそう思う：10名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



I-9【その他】

I-9-1) 酪農フィールド科学演習以外にも他大学の講義を受講できる機会をもっと増やしてほしい

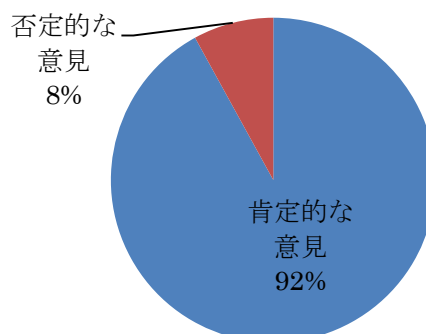
- ・強くそう思う：19名
- ・まあまあそう思う：7名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



I-9-2) フィールド演習一般についての受講者の意見

大多数の回答がフィールド演習“一般”についてではなく“今回の演習”に対する感想・要望であったため、本演習に対する意見を中心に肯定的意見・否定的意見として分類した。

●回答者数：25名，未回答：2名



《肯定的な意見・感想》

- ・体験型でとても良かった。日頃あまりこのような授業がないため、刺激を受けました。グループで動くことで関わりも多くあったし、楽しかったです。
- ・フィールド演習は実際に行ってみないと良さがわからないと思います。私は今までフィールド演習についてあまり知らなかったし、もっと行っておけば良かったと思っています。大学の中で学生が行ける、知ることができる機会が増えれば、大学4年間の中で学びの機会が増えると思いました。
- ・体験して学習することができるため、理解が深まると思うので良いと思う。
- ・大学の講義だけではなく、実際に体験することで頭ではなく心や体で感じて学ぶことができると思います。
- ・必修の授業の講義は受け身だけれど、フィールドワークは自分が動いて学べるので、「もっと知りたい」という意欲につながっていると思う。
- ・命のことを改めて考えられることができ、普段体験できないことを体験できたので、次の人にも後輩にもすすめていきたい。
- ・実習を通して得るものがとても大きいと感じました。
- ・演習を通して、体験できないこと、他大学の人との交流ができ、自分の将来を深く考えることができた。
- ・できないことが出来るので良く、他大学との交流もできるので良かった。
- ・実際に体験することで得られることは本当に多いと思った。まさに百聞は一見にしかず。
- ・もっと力仕事や大変な作業を想像していましたが、職員の方は怪我のないようとても気を配って下さり、本当に楽しく作業の一部を体験することができました。撮影が自由だったのも嬉しかったです。
- ・農場体験をする機会は、小中学生の時にもあったが、これほど深く学び考えたのは初めてでした。また班の発表の内容が、動物福祉だったので、皆と意見を出しあって考えて、とてもいい体験だった。
- ・広いフィールドで演習するので、自然が多くて気持ちよかったです。
- ・普段体験することができないことができるので、もっとたくさんあればいいと思います。
- ・今まで見る、聞くだけであったが、体験することで自分なりの考えが持てるのでとても良かった。
- ・正直のところ、大変でつらかったですが、このような合宿ができて、勉強になりました。初めて本気でグループワークして、意見を出し合ってパワーポイントや原稿を作り、いい経験になりました。意見を言い合うことで、自分の考えの整理も同時にできたので、グループワークをすることで、食についての考えが深まりました。
- ・一回だけで終わりではなく複数回、課題を変えながら実習を行いたいと思いました。
- ・フィールド演習については授業など言葉や物を使って説明しても、その人が感じたことをそのまま体験したことのない人に伝えようとしてもどうしても全ては伝わらないので、誰でも一度は体験してほしいと思った。
- ・自分の通っている学校では受けることのない分野の講義を聞いて満足できた。しかし、一部分しか体験できなかったのももう少し時間を増やすべきだと思う。
- ・フィールドを通してでしか学べないこともあるだろうし、何よりも他大学の学生さんたちとの交流を深めれる場なので、とても良いと思う。

- ・いろいろな種類のフィールド演習があってもよいと思う。
- ・体験を通してというのは頭で考える前に自分の感覚でまず感じたことを考えるのでよい刺激になりました。
- ・他分野が専門の他大学の学生に対して広島大学の特性を活かした演習が設定されている点が良いと思った。

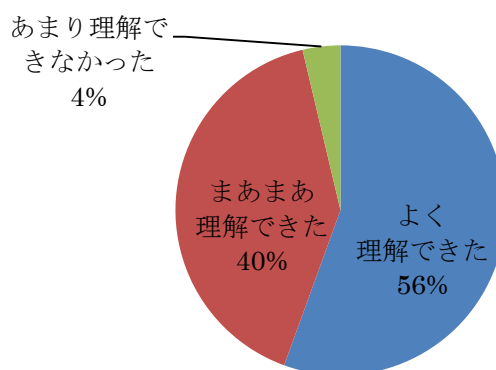
《否定的な意見・感想》

- ・講義の時間はもっと短い方がいいと思った。その分、演習に時間を使いたかった。あと、全体的にスケジュールがきつきつなので、もっと休憩時間がほしかった。
- ・フィールド学習はあまり大学でやられていないし、授業だけだとおもしろくないから、個人的にフィールド学習を増やしてほしい。

II 【授業に関する質問】

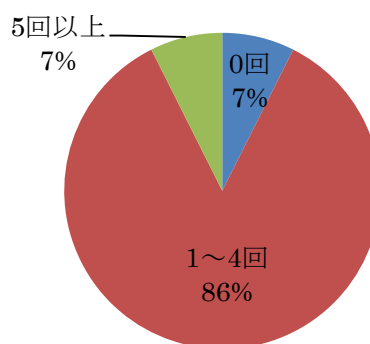
II-1-1) 講義内容について

- ・よく理解できた：15名
- ・まあまあ理解できた：11名
- ・あまり理解できなかった：1名
- ・全く理解できなかった：該当者なし



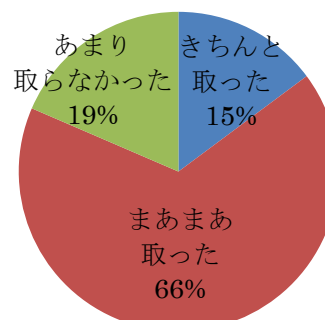
II-1-2) 講義の内容について教員や補助者に何回、質問をしたり意見を述べたりしたか

- ・0回：2回
- ・1～4回：23回
- ・5回以上：2回



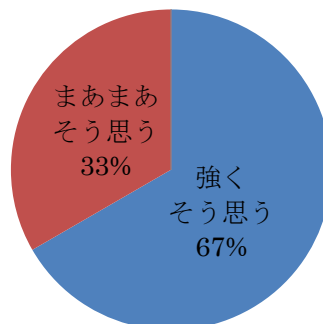
II-1-3) 講義のノートやメモを取ったか

- ・きちんと取った：4名
- ・まあまあ取った：18名
- ・あまり取らなかった：5名
- ・全く取らなかった：該当者なし



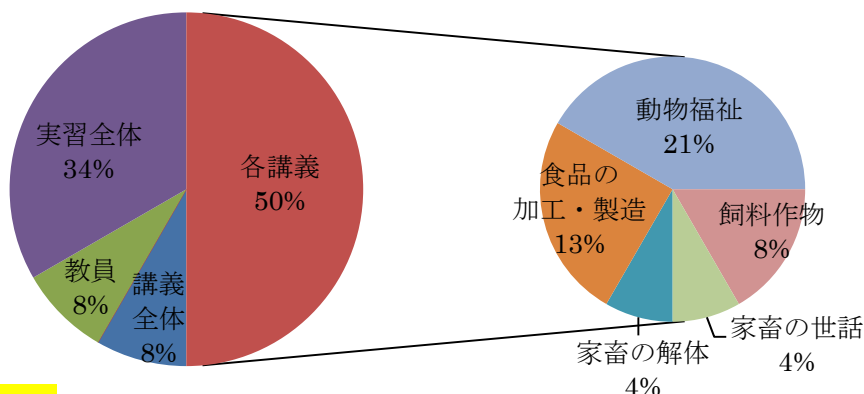
Ⅱ-1-4) 講義内容は、この授業全体や実習の意味や目的、内容を理解させるものだったか

- ・強くそう思う：18名
- ・まあまあそう思う：9名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



Ⅱ-1-5) 講義のどのような部分が面白かったか

●回答者数：24名，無回答者数：3名



《講義全体に関して》

- ・実習と連結しているところがおもしろみがありました。
- ・実際にあったことをふまえながらの説明。

《各講義に関して》

- ・鶏の解体。
- ・やったことがないことを体験しながら、ヨーグルトやカレーのパウチができて分かりやすかった。
- ・カッテージチーズの作り方と飼料のコーンについての講義が聞いていて話に引き込まれた。
- ・動物福祉、ヨーグルトやチーズの製造について。
- ・動物福祉という考え方が新しく面白かった。
- ・宗教と関係させて話していたこと、幼稚園でのうさぎの飼育の話。
- ・谷田先生の授業が一番印象的で良かったです。新しい考え方を知り、考えさせられました。動物福祉という考え方を初めて知り、今まで考えたことなかったことを考えてみるきっかけになりました。私は生産動物の動物福祉についての答えを出してはいないし、考えても出せなさそうですが、考えていくべきテーマだと思います。
- ・西洋と日本とでの生物に対する価値観の違い。動物の福祉は西洋の考え方。
- ・谷田先生の保健所の話。
- ・トウモロコシの実験を混ぜてるところ、先生の話がユニークで面白い。
- ・講義中に実践の部分があり、文字や言葉以外を通して知ることができた点が面白いと感じた。(講義のあいだにトウモロコシ畑に行く等)
- ・体験ができて面白かった。特に放牧や乳搾りの演習が非常に勉強になりました。

《教員に関して》

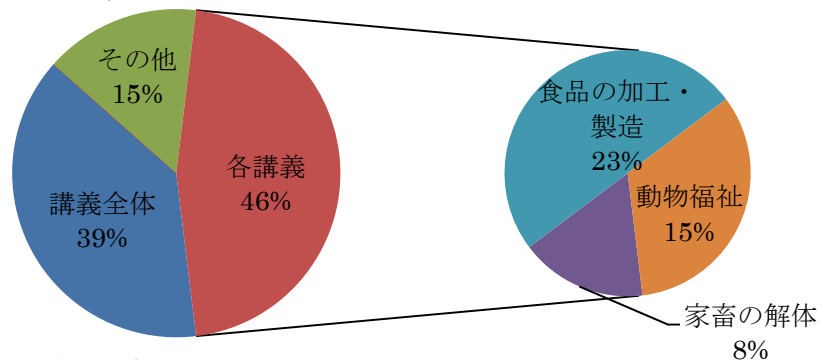
- ・先生たちには様々な個性があり、教え方、番所の書き方の違いを感じた。
- ・どの講義も先生方がおもしろくて、簡単にかみくだいて教えてもらえたので理解しやすく、実験や解剖も興味を深められて面白かったです。

《全体の感想》

- ・知らないことを知ることができた。
- ・全部!!!
- ・ただの座学ではなく、実習や実験と連動していたところ。
- ・教養が深まった。
- ・ディスカッションがあることで他の意見を聞けたり、今までの講義にないことが楽しかった。
- ・食を得られるまでの過程を、実習も交えて理解できるところ。
- ・実際ではなかなかできない体験の中で、個人的には4日間体験した全てがおもしろかった。
- ・答えが出るような内容ではないので自分で考えないといけないところが良いと思いました。

Ⅱ-1-6) 講義のどの部分が理解しにくかったか

●回答者数：13名，無回答者数：14名



《講義全体に関して》

- ・理系ではないので、難しい話は分からなかった。
- ・専門的な部分。
- ・口頭でしか説明がなかったこと。資料が少なかったこと。
- ・講義の内容の意義が、質問をしていかないと理解しにくい。
- ・講義自体は分かりやすかったと思うが、内容説明が速い部分があったときに理解しにくいと感じた。事前に配布冊子を読み込む時間があればより理解しやすかったのではないかと思った。

《各講義に関して》

- ・鶏の解剖の時に、知識不足でついていくのが少し大変だった。
- ・鶏の加工の意図が良く分からなかった。
- ・菌の名前を出されたが、どのような菌なのかイメージしづらかった。
- ・菌などの専門的な話は分かりづらかったです。
- ・動物に対する人間の考え方。
- ・動物の福祉といった、答えが無限にある分野が難しかった。

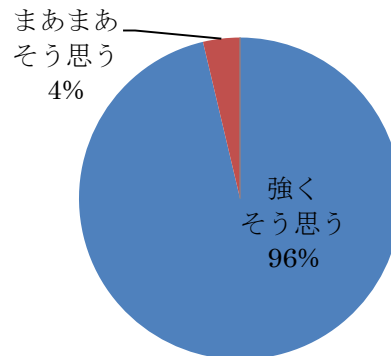
《その他》

- ・表面的理解はできるが、深くまでは理解はしにくい、体験により自分なりにわかるのでよかった。
- ・理解にしにくいところは無く、むしろもっと深く学びたいくらい興味深かったです。

Ⅱ-2 【今回の実習について】

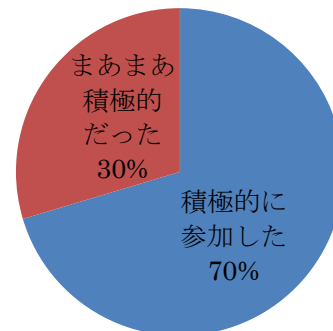
Ⅱ-2-1) 実習は面白かったか

- ・強くそう思う：26名
- ・まあまあそう思う：1名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



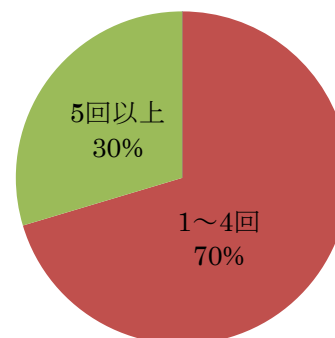
Ⅱ-2-2) 実習にどのように参加したか

- ・積極的に参加した：19名
- ・まあまあ積極的だった：8名
- ・あまり積極的でなかった：該当者なし
- ・全く積極的でなかった：該当者なし



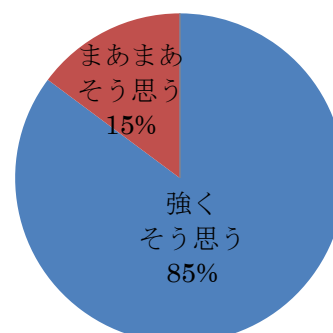
Ⅱ-2-3) 実習の際、先生や実習補助者に何回質問したり意見を述べたりしたか

- ・0回：該当者なし
- ・1～4回：19名
- ・5回以上：8名



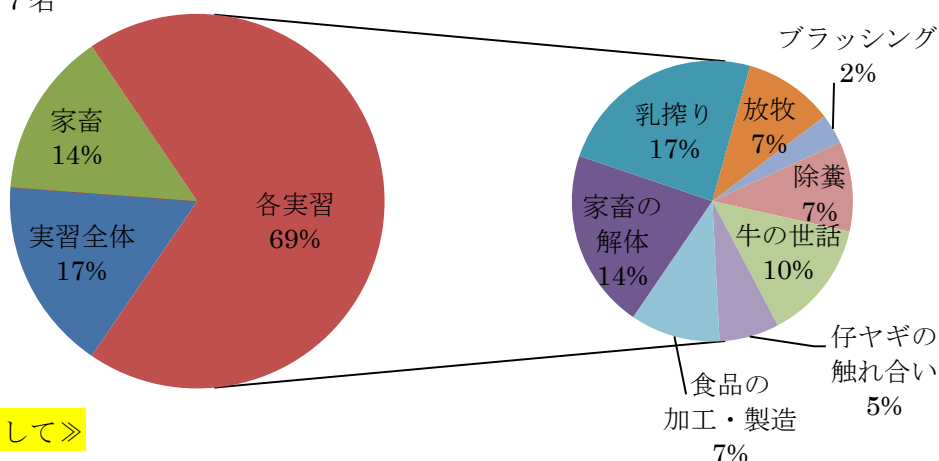
Ⅱ-2-4) 実習があることによって、講義内容を理解できるようになったか

- ・強くそう思う：23名
- ・まあまあそう思う：4名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



Ⅱ-2-5) 実習で面白かったのはどのような点か

●回答者数：27名



《実習全体に関して》

- ・全てです。
- ・動物、自然と触れ合えるのが魅力的。
- ・普段では体験できないことを実際に体験できたことや、家畜とたくさん触れ合えたこと。
- ・実際に体験をして、生産の苦勞が理解できた点。
- ・実際に触れ合い、体験できることが全て楽しいと考えました。
- ・実際に農場へ出て経験する事ができた。
- ・全体的に普段できない体験をすることができて面白かった。

《各実習に関して》

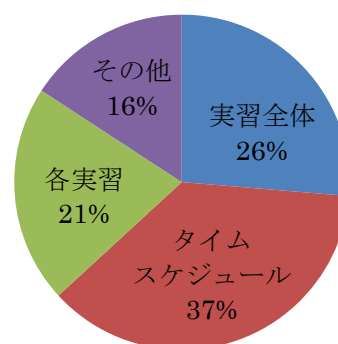
- ・鶏の解体（3名）
- ・解剖を初めてしたので、面白かった。
- ・乳搾り（4名）
- ・搾乳が一番面白かったです。乳を洗ってあげたり、一番牛に近づけたのではないかと思います。
- ・乳を搾るための機械が面白かったです。
- ・放牧
- ・放牧で牛を追いかけて、牛は弱い所や身長の高い所に行くということを知れて嬉しかった。
- ・ブラッシングで実際に牛を肌で感じたこと。
- ・牛の除糞（2名）
- ・牛舎の掃除。普段なら絶対にやりたくないが、真剣に取り組むと意外に楽しかった。
- ・牛の世話（2名）
- ・仔ヤギの抱っこ（2名）
- ・放牧や乳搾りが面白かったです。また、鶏の解剖なども体の中を見る事ができて、勉強になりました。
- ・乳搾り体験やえさやりなどを通して初めて触れ合うことができて楽しかった。鶏の解剖も興味深く、とても印象に残っている。
- ・生きている牛などの家畜に触ることと、世話や作業を実際に機械や道具を使いながら行えたこと。
- ・レトルトカレー作り（2名）
- ・ヨーグルト・チーズ作り

《家畜に関して》

- ・実際に牛と触れ合えたこと。けっこう危ないから近付かせてもらえないのかと思っていたので、嬉しかった。
- ・動物を近くで見て触って、観察できた点。
- ・牛と近くで接することができたことが楽しかったです。普段牛と接することがないので、めずらしい体験でした。
- ・たくさんの動物と触れ合えたり、会話（アイコンタクトみたいな）をすると反応してくれてるように見えた。
- ・実際触れてみたり、自分でエサを作ったりあげたりできたところ。
- ・普段は触れることの少ない動物と関わることができる。

Ⅱ-2-6) 実習で改善してもらいたいのはどのような点か

●回答者数：19名，無回答者数（特になしを含む）：8名



《実習全体に関して》

- ・もっと少人数のグループで活動したかった。多いと、ゆずりあいとかいちいちしなくてはいけないのが少し面倒だった。
- ・2グループで一緒に作業をした時に、自分の番が回ってくるまで待っていたり、見ているだけの時間がたまにあったので、もう少し人数が少ないともっと良くなると思う。
- ・グループのみんなが体験できるようにした方がいいと思います。1人が積極的にするのではなく、みんなが均等に体験できたらいいと思います。
- ・できるだけ私たちが見るだけでなく参加できる形にしてほしい。
- ・もう少し体験において、つらいこと、苦しいことを増やしても良かったと思いました。

《タイムスケジュールに関して》

- ・スケジュールがつめつめだったからきつかった。
- ・農場→学部へ移動→農場が少ししんどかった。
- ・結構時間がきつきつだったので、もう少し多くのことができたらと思います。
- ・農場へ出て行う作業時間をのばして欲しい。
- ・作業内容すべてをできるわけではない。時間が短いので延長した方が良い。
- ・ひとつひとつがすぐ終わってしまった。時間がもう少し長くても良いと思う。
- ・もう少し実習を1度にじっくりできるようにしてほしい。慌ただしく移動することが多かった。

《各実習に関して》

- ・鶏は生きた状態から解剖したい。
- ・牛のブラッシングができなかったのが残念でした。

- ・改善というわけではないが、予定にはいていた牛のブラッシングが実際にはできなくて残念だった。他にもそのような声を聞いた。
- ・説明を詳しくして頂けると分かりやすかったと思う。

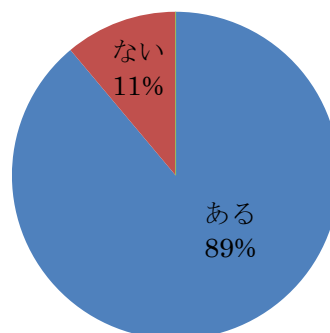
《その他》

- ・喫煙の機会がもう少しあると助かります。
- ・シーツが毎日替えれたらいいと思いました。
- ・マスクがほしかった。

Ⅱ-3 【今回の発表会について】

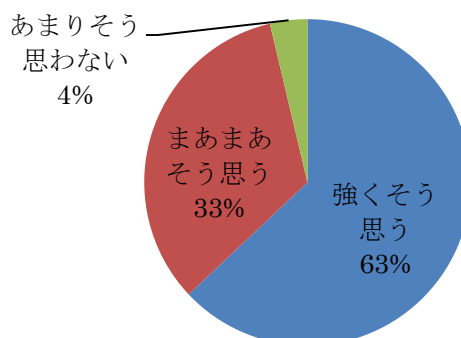
Ⅱ-3-1) これまでに発表経験があるか

- ・ある：24名
- ・ない：3名



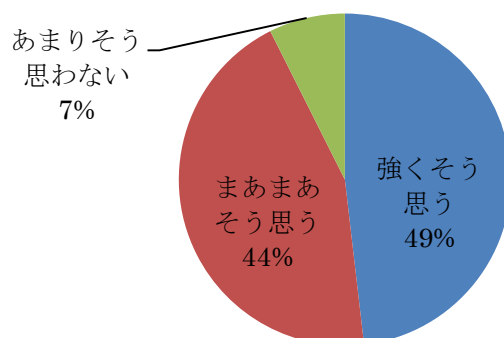
Ⅱ-3-2) 発表は大変苦労したか

- ・強くそう思う：17名
- ・まあまあそう思う：9名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



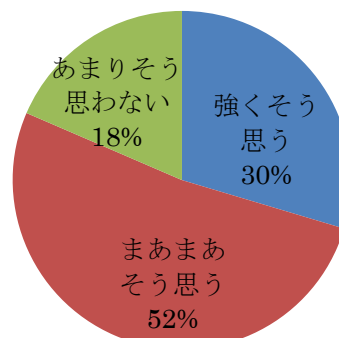
Ⅱ-3-3) 発表のチームワークはうまくできたか

- ・強くそう思う：13名
- ・まあまあそう思う：12名
- ・あまりそう思わない：2名
- ・全く思わない：該当者なし



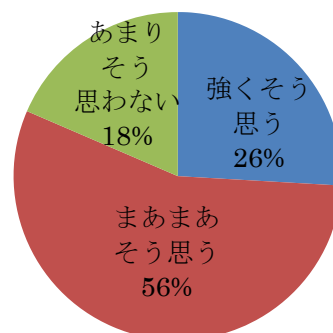
Ⅱ-3-4) 発表内容に満足しているか

- ・強くそう思う：8名
- ・まあまあそう思う：14名
- ・あまりそう思わない：5名
- ・全く思わない：該当者なし



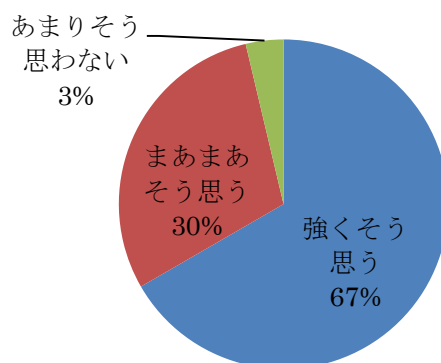
Ⅱ-3-5) 発表のための基礎的な手法が身についたか

- ・強くそう思う：7名
- ・まあまあそう思う：15名
- ・あまりそう思わない：5名
- ・全く思わない：該当者なし



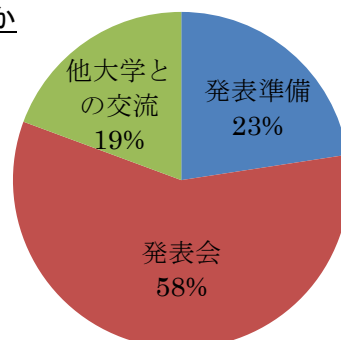
Ⅱ-3-6) 発表をすることで、講義や実習内容がより理解でき、有意義であったか

- ・強くそう思う：18名
- ・まあまあそう思う：8名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



Ⅱ-3-7) 発表会について良かったのはどのような点か

●回答者数：27名



《発表準備に関して》

- ・発表会を準備するにあたって、実習について振り返ることが多く理解が深まる。
- ・先生やTAの方がいろいろとアドバイスを下さり、とても参考になった。
- ・発表準備では、班のみんなで話し合っって意見交換ができることでいろいろな意見、考え方があるんだなと思うことができ、さらに交流することができました。
- ・パソコンが班に1台あったこと。
- ・話し合いをすることで、他人の考えを知ったり、自分の考えを深めたりできたので良かったと思います。他人の意見を否定しないという討論の仕方がとても有効でした。
- ・KJ法を利用することで、みんなの意見を聞きながら発表の準備を進めることができた。
- ・パワーポイントを活用した発表の方法やスキルについて知ることができた点や、各グループが定めた視点から演習を振り返ることができた点等。

《発表会に関して》

- ・いろいろな意見が聞けた。

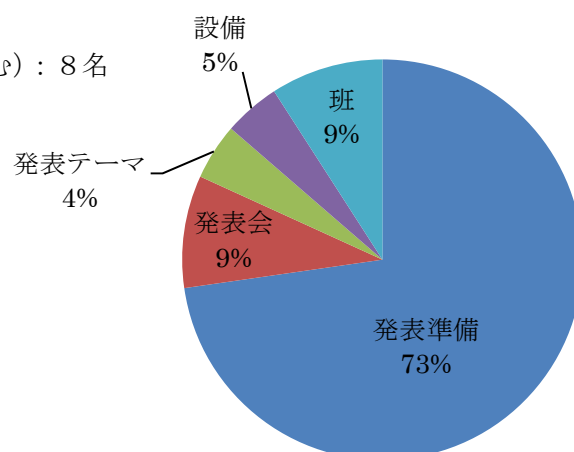
- ・どのグループも面白かった。
- ・どの班も視点が違い、いろいろな考えを聞くことができた。
- ・他大学の意見を聞くことができ、さまざまな広い視野を持つことができました。
- ・自分たちの考えを伝えることはできた。
- ・他人の意見を聞いて、自分以外の考えを知れたこと。
- ・他のグループでは、自分達が全くふれなかった事について発表してたり違った意見や見方をしている、聞いていて新鮮だった。
- ・自分の発表ができた。
- ・自分達の考え方だけにとどまらず、他の意見や考えが聞ける。
- ・他の班の発表から、様々な視点からの考えが得られる点。
- ・それぞれの意見が出ていて、人間の感性が見れたことが良かった。
- ・他分野の勉強をしている人の意見や自分には思いつかなかった意見を聞けた点。
- ・他のチームの意見を聞けたこと。
- ・グループの全員が一丸となり、一つの目標に向かい、力を合わせて意見を出し合い、納得のいくものができてよかった。
- ・他人の意見が全然違うんだと分かった。
- ・それぞれの班が、班のメンバーの個性を生かし様々な意見を聞けたことが良かった。
- ・発表会で各グループごとにまとめた内容を聞くことでより理解が深まっておもしろかった。また、発表をする目標があり、意見をまとめる力がついた。
- ・テーマが幅広かったため、グループによって視点が異なり、興味深かったです。

《他大学との交流に関して》

- ・他大学、他学科の学生と話し合うことで、自分とは異なる意見や考えを聞くことができた。専門領域を超えたつながりも感じることもできた。
- ・班の人とのコミュニケーションが取れ、ディベートをすることで、より深まった。
- ・交流できたのがよかった。
- ・他分野の人の意見を聞けることができ、とても新鮮で楽しかった。いろいろな見方があると感じた。
- ・チームでとても仲良くなれた点。
- ・他大学の人と交流が深まり、他の人の意見も聞ける。

Ⅱ－３－８）発表会で改善した方が良いと思われるのはどのような点か

●回答者数：19名，無回答者数（特になしを含む）：8名



《発表準備に関して》

- ・もう少し準備の時間が欲しかった。(4名)
- ・時間が少ない。
- ・話し合う時間が短すぎた。
- ・時間がもっとほしかった。話し合いをもっとしたかった。
- ・準備時間が足りないので、増やした方がいいと思いました。
- ・準備時間が短いと思いましたが、この日程ではこれが限度なのかなとも思った。
- ・まとめをする時間があまりなくて、最後の方は手短に適当になってしまったので、残念だった。もう少し話し合いの時間がとれたら良いと思う。
- ・パソコンでできる時間が足りなかったです。
- ・作成時間が短く、納得のいくものが作れない。
- ・リハができる状況を作ってほしかった。
- ・リハーサルができなかったのでグループの人と息があわず、パワーポイントが上手くできなかった。
- ・難しく考えてしまったので、時間が足りなかった。なので時間配分をもう少し考える
- ・発表練習の時間が欲しかったです。

《発表会に関して》

- ・質問者があまりいなかったのが気になりました。
- ・もう少し先生方やTAの方からの質問を増やしてもよい気がします。

《発表テーマに関して》

- ・発表テーマが広く、作成しにくい。

《設備に関して》

- ・ネットが自由に使える方が知識が増えると思った。調べたいときに調べたい。

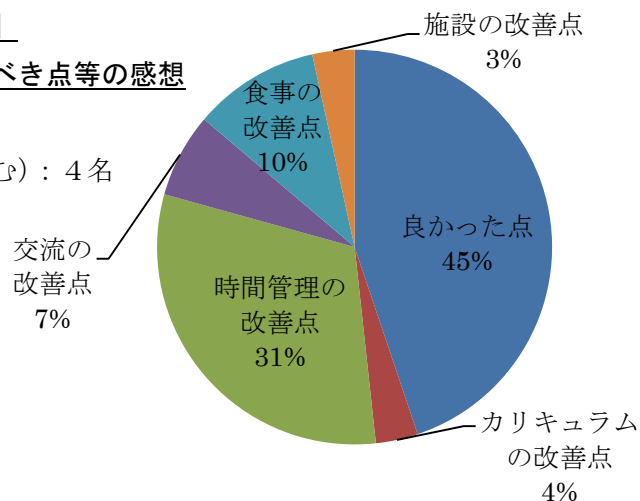
《班に関して》

- ・グループの人数がもっと多い方が良かった。
- ・4年だからと言ってリーダーになるのは少し辛い部分があった。グループ内の話し合いで決めても良いと思う。

Ⅱ-4 【今後の食農フィールド科学演習について】

Ⅱ-4-1) この演習についての良い点や改善すべき点等の感想

●回答者数：21名，無回答者数（特になしを含む）：4名



《良かった点》

- ・先生方や TA の方や技術職員の方たちは、私たちのたくさんの質問に対して本当に真摯に答えて下さり、とても勉強になり、感謝しています。他分野のことを学ぶことは、自分たちの専攻している分野の知識にも奥行きを与えてくれました。参加して本当によかったです。
- ・楽しかったです！また体験したい。
- ・演習がとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・とてもいい体験ができて人生の一部となるのが良かった。
- ・貴重な体験ができました。参加して本当のためにになりました。ありがとうございました。
- ・3泊4日で短い気もしますが、その中でかなりの内容を教えてもらうことができ、とても楽しい実習になりました。
- ・すごく楽しかったです。ありがとうございました。鶏の絵本を作っているのので、完成したら是非見てください。
- ・全体を通して満足しています。チームの振り分けも、あえて違う学校の人同士にしてあることで、色々な視点からこの体験を通して感じたことを意見交換することができたと思います。
- ・発表会を行うことで実習を通して学んだことの整理ができたのが良かった点です。
- ・普段自分たちが勉強している分野から違う分野を見れることで、自分の分野はこの分野になにができるか考えれるのが良かった。
- ・今回専門外の分野の体験学習（演習）を通じて知識や考え方を学ばせていただくと同時に、改めて人間には広い視野や柔軟な考え方が必要なのだと感じました。こうした機会を与えていただけて、様々な考え方をめぐらせ深めることができ、人として成長できたのではないかと思います。本当にありがとうございました。
- ・環境がよくわかる。主体性がつく。他大学と交流ができる。
- ・お風呂が良かった。

《カリキュラムの改善点》

- ・匂いがきついのでマスクがほしい。その他は全て良かった。

《時間管理の改善点》

- ・予定を少しつめすぎ。発表の準備を夜にするのはキツイ。
- ・日にちが少なく詰り詰り状態だったので、日にちをのばす。
- ・実習や講義はとても充実していて満足ですが、もう少しゆっくりにできる時間（夜、宿舎に帰ってから）があればなお良いと思いました。
- ・この演習に参加できたのは本当に良かったと思うけれど、スケジュールがキツキツで、慌ただしかった。もっと、他大学の受講生との交流の時間や洗濯をする時間など、余裕があると嬉しかった。
- ・スケジュールが密すぎる気がしなくもないのでそのあたりを考えていただけたら幸いです。
- ・スケジュールがハードだったと思う。少しゆとりがあればと思った。
- ・時間が結構タイトなので、忘れ物とかが不安だった。お風呂の時間を伸ばしてほしい。
- ・自由時間がなかった。外をお散歩したかった。
- ・就寝が10時は早すぎると思います。

《交流の改善点》

- ・交流会の時間をもう少しとってほしかったです。
- ・班の人との交流は発表会の準備や実習で深めることができましたが、部屋の人とあまり交流できなかったのが残念です。

《食事の改善点》

- ・ごはん（米）が多かった。セルフがよかったです！
- ・ごはんだけはよいもの（お金がかかっても）にした方がよいと思います。
- ・個人的な意見だけど、ご飯の量が自分で選べたら良かったと思う。（かなり多かったです）

《施設の改善点》

- ・シーツは毎日替えたい。